



CONTENTS

特集 働き方改革	02
テクノトランスファー in かわさき2018 出展者募集中	04
経営改善計画策定支援事業	06
CASE STUDY 情熱社長に聞く ～宝 養生資材 株式会社 吉村夫妻	08
平成29年度 発注企業生産現況調査(12月調査)／ わたしたちKIPです〈Vol.6〉県央支所	10
注目が高まる中国高齢者向けビジネス ～上海	11
平成29年度神奈川県優良工場・優良小規模企業者表彰	12
伝統工芸品展WAZA2018・第45回鎌倉彫創作展／ 県制度融資 ～フロンティア資金	14
神奈川版オープンイノベーションによる商品化支援	15
3月の巡回あっせん相談／KIPイベント情報2月～3月	16

特集

国が進める 働き方改革



大企業を味方に
休眠特許、開花

表紙の人

宝 養生資材 株式会社
代表取締役

吉村 政城氏(左)

(p.8-9「情熱社長に聞く」)

【事業内容】建設養生資材の販売、
各種粘着テープの販売

【所在地】川崎市宮前区菅生2-19-17
【創業】1975年



公益財団法人
神奈川産業振興センター

「働き方改革」

人手不足の深刻さが増していますが、人口減少時代を迎え、働き手が減少していく中で、労働力の確保や生産性の向上を図るには、「働き方改革」が欠かせないものになっています。現在国が進めている「働き方改革」について、ご紹介します。

I 「働き方改革実行計画」の策定

2016年8月に、内閣に「一億総活躍社会」実現のため、働き方改革担当大臣が設置されました。その後、同年9月に内閣総理大臣を議長に「働き方改革実現会議」が設置、2017年3月に、「働き方改革実行計画」が策定されました。

計画に盛り込まれた「基本的考え方」と取り組み内容は次のとおりです。

1 働く人の視点に立った働き方改革の意義(基本的考え方)

- ・日本経済再生に向けて、**最大のチャレンジは働き方改革**。働く人の視点に立って、労働制度の抜本改革を行い、企業文化や風土も含めて変えようとするもの。働く方一人ひとりが、よりよい将来の展望を持ち得るようにする。
- ・働き方改革こそが、**労働生産性を改善するための最良の手段**。生産性向上の成果を働く人に分配することで、賃金の上昇、需要の拡大を通じた成長を図る「成長と分配の好循環」が構築される。社会問題であると共に経済問題。
- ・雇用情勢が好転している今こそ、政労使が3本の矢となって一体となって取り組んでいくことが必要。これにより、人々が人生を豊かに生きていく、**中間層が厚みを増し、消費を押し上げ、より多くの方が心豊かな家庭を持てるようになる**。

2 取組内容

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ① 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 | ⑦ 子育て・介護等と仕事の両立、障害者の就労 |
| ② 賃金引上げと労働生産性向上 | ⑧ 雇用吸収力、付加価値の高い産業への転職・再就職支援 |
| ③ 罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正 | ⑨ 誰にでもチャンスのある教育環境の整備 |
| ④ 柔軟な働き方がしやすい環境整備 | ⑩ 高齢者の就業促進 |
| ⑤ 女性・若者の人材育成など活躍しやすい環境整備 | ⑪ 外国人材の受け入れ |
| ⑥ 病気の治療と仕事の両立 | ⑫ 10年先の未来を見据えたロードマップ |

II 「働き方改革」実現に向けた対策

関係省庁により検討された次の方向性に沿って、2018年度予算案に諸対策が盛り込まれています。

1 「働き方改革」の理解を図り、相談に応じ、支援を届ける体制の強化

中小企業・小規模事業者に対して周知徹底を図るとともに、全都道府県に相談のための拠点を設け、各地域の商工会・商工会議所等と連携して、「働き方改革」に取り組む中小企業・小規模事業者を支援。

について

2 「働き方改革」実現に向けた社内環境整備等の支援

時間外労働の上限規制への対応や、同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善に向け、必要な社内ルール整備等に対して支援・助成する。

3 「働き方改革」実現に向けた取引条件改善や生産性向上のための支援

賃金引上げや労働時間短縮等につなげるため、取引条件の改善や生産性向上に向けて支援。

4 人手不足への対応支援

人手不足感の強い中小企業・小規模事業者において、女性・若者・高齢者等がさらに活躍できるよう、環境整備、マッチング、人材の育成・活用力の強化等を支援。

5 業種別の取り組み

「働き方改革」への対応にあたっては、業種ごとに現状や課題が異なるため、取引条件の改善や生産性向上等に向けて、業種の特徴に応じて支援。

Ⅲ 「働き方改革推進法案」

「働き方改革」で求められる主な対応である、長時間労働是正のための新たな上限規制の設定及び同一労働同一賃金等を定めた「働き方改革推進法案」が今通常国会で審議予定です。そのポイントは次の通りです。

長時間労働の是正

- 長時間労働の上限規制の枠組みを遵守する必要あり。
- I. 原則：月45時間、年360時間
- II. 例外(特例条項)
 - ：年720時間、月100時間未満、複数月平均80時間
- ※ 特例条項は年間6ヶ月まで
- ※ 「月100時間未満、複数月平均80時間」の上限について休日労働の時間数を含むものとする

同一労働同一賃金

- 正社員と非正規社員の待遇差について、納得が得られる合理的な待遇とする必要がある。
- I. 短時間労働者・有期雇用労働者
 - (1) 新たに有期雇用労働者も「均等待遇」の対象に
 - (2) 「均衡待遇規定」の内容の明確化
- II. 派遣労働者
 - ① 派遣先の労働者との均等・均衡待遇、② 一定の要件を満たす労使協定による待遇のいずれかを確保することを義務化。

「働き方改革」は、一億総活躍の視点から、女性や若者、高齢者の活躍などにより柔軟な働き方を
実現するものであり、中小企業・小規模事業者は、生産性向上・経営力向上や、「魅力ある職場づく
り」の実現を通じて、人手不足の解消にもつながることが期待されます。今後も国や県などの取り
組みについて、適宜お知らせします。

次世代技術の発信 **7月11日(水)～13日(金)** **テクノトランスファー** **inかわさき2018** **出展者募集中!**

高度先端技術や研究開発機能が集積する川崎市。そこに立地する日本最大級のハイテクインキュベータであり研究開発型企業の交流拠点である「かながわサイエンスパーク」で、今年も「テクノトランスファーinかわさき」を開催します。今回は、生産・環境・医療における最新テクノロジーを担う次世代技術部門を設け、ものづくり、大学技術シーズとともに先端技術をお届けします。また、「川崎ものづくりブランド認定製品」も特設コーナーに出展！ 新たな時代を創る、独創性と先進性に富んだ優れた技術・製品・情報サービスなど、企業の皆さまの出展をお待ちしています。

会 期 7月11日(水)～13日(金)
 10:00～17:00

会 場 かながわサイエンスパーク[KSP]
 イノベーションセンター西棟
 (川崎市高津区坂戸3-2-1)

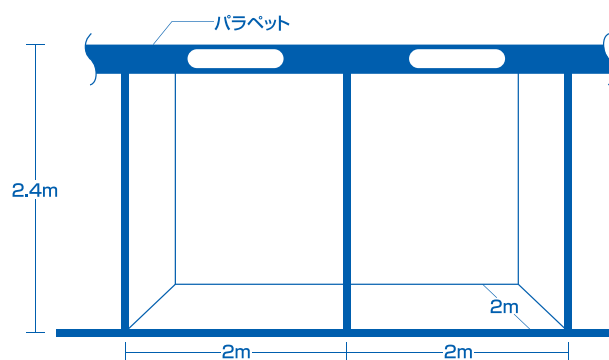
開催規模 会場面積約1,000㎡
 出展者数118社・団体／小間数120
 (前回実績)

来場者数 7,905名(前回実績)

出展部門 次世代技術(生産・環境・医療)／ものづくり／
 大学技術シーズ／ビジネス支援

入 場 料 無料

出 展 料 1小間(2m×2m)
 ◇神奈川県内に事業所を有する企業または団体、支援機関等:64,800円
 ◇その他の企業等:75,600円



主 催 (公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、
 川崎市(順不同)

効果ある出展をサポート **無料**

詳細は公式サイトをご覧ください。

- ◆**公式サイトへの情報掲載**: 貴社名・出展製品情報を掲載し、貴社ホームページへリンクをします。
- ◆**招待券(DM)の提供**: 出展者情報を記載したDMを希望枚数お渡しいたします。 ※ お申込み枚数が多い場合は調整
- ◆**出展者セミナーの開催**: 会期中に貴社の製品・技術をPRするためのセミナー会場を用意します。
- ◆**商談**: 来場予定者から事前に来訪アポイントを受ける機能を公式サイトに設定します(希望者)。出展者同士でもご利用可。

新規顧客開拓は展示会活用を!

新たなお客さまの開拓にはご苦労されているのではないのでしょうか?アポ取りだけでも大変です。日々の地道な営業活動は勿論大切ですが、「展示会」、これを活用しない手はありません。展示会は出展者、来場者など多くの方が集まるビジネスチャンスの宝庫です。ぜひ、販路開拓に展示会をご活用ください!

絶好のPRの場!

展示会は、広告宣伝費に多くの資金を投入することが難しい中小企業・小規模企業さまにとって絶好のPRの場となります。1日で多くの会社に訪問することは容易ではない中、展示会では、出会いを求める多くの方々(来場者・他の出展者など)と接することで新たなビジネスチャンスの芽が数多くあります。出展により、すぐに結果が出なくても出展を重ねることで、展示会による営業ノウハウを蓄積し、多くの成約に結び付けている会社もあります。



営業力アップに!

展示会終了後のフォローアップの取り組み方でも成果は大きく変わってきます。成約可能性からランク付けしてフォローするというのが一般的な手法ですが、ランクにこだわらず粘り強いフォローをしていくことで、多くの成約に繋げている会社もあります。会社のおかれている状況、製品・サービスの特質も違うので、自社ならではの展示会ノウハウを蓄積し、営業力を強化していくことが大切です。「お客さまの声」を聞くことで、自社の製品・サービスに反映させていくなど、マーケティングの観点などからも展示会を活用し、自社の営業力アップに繋げていきます。

人材育成・組織力向上・ビジネスパートナーも!

出展により、従業員がお客さまをアテンドすることや、出展者セミナーに参画し、自社PRをすることなどでスキルアップが図られ、従業員教育にも役立ちます。また、新製品の開発やそのPR方法などを社内一丸となって取り組むことで、一体感が醸成されることも期待できます。そして、自社の製品・技術・サービスなどを補完できるビジネスパートナーと出会えることもあります。



お問合せ・お申込は、

取引振興課 TEL 045(633)5170
※ 満小間になり次第、締め切り。応募状況についてはお問い合わせください

『経営改善計画策定支援』

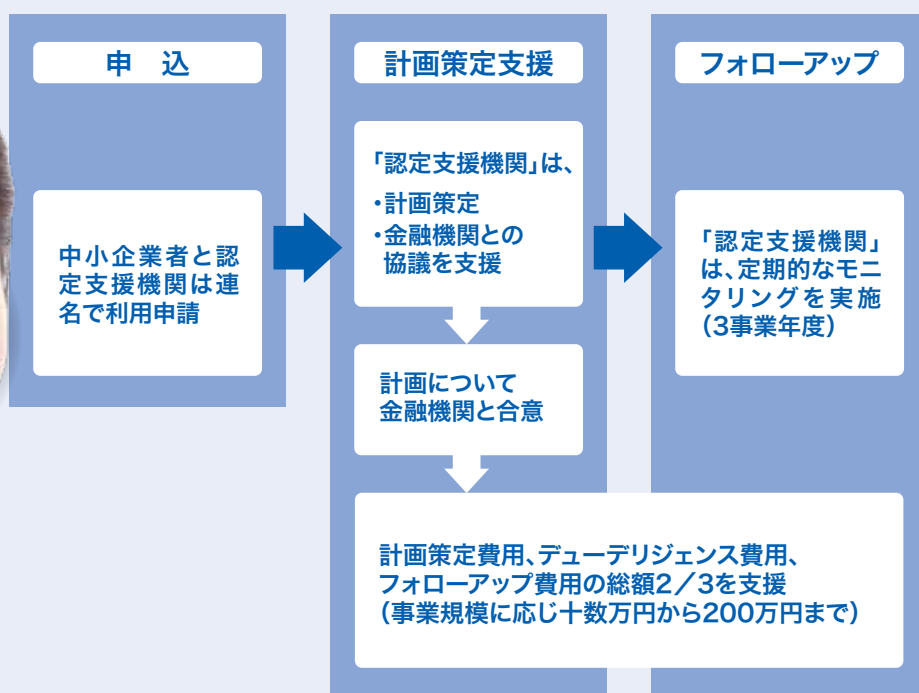
経営改善支援センターでは、中小企業の皆さまが「財務上転換」や「新たな事業展開」を図る経営改善計画の策定

経営改善計画策定支援事業とは

- ・ 金融支援等（返済条件の変更、借換え融資、新規融資）を必要とする中小企業・小規模事業者が、外部専門家（認定支援機関※）の助けを得て実施する経営改善計画の策定を支援します。
- ・ 具体的には、認定支援機関による経営改善計画策定費用やデューデリジェンス（資産査定費用）、フォローアップ費用につき、補助率2/3（上限200万円）で支援します。

※「認定支援機関」とは、中小企業が安心して 経営相談等が受けられるために、金融機関、税理士、公認会計士、弁護士等の専門知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が公的な支援機関として認定しています。

経営改善支援センターによる経営改善計画策定支援の流れ



事業』をご存じですか

の問題を解決し、「黒字体質への
を支援しています。



成果事例

飲食店経営企業の事例（和食2店舗、フレンチ1店舗経営）

3店舗を経営する飲食店経営企業について、認定支援機関（中小企業診断士）が、いかなる環境においても黒字確保できる強い経営体質の実現をコンセプトに経営改善計画を策定。金融支援を受け、認定支援機関による継続的なフォローアップの結果、売上・利益ともに大幅な改善を達成しました。

計画策定前	計画策定後直近期	
売上 120百万円	売上 200百万円	平成27年度から計画期間3期間目で、売上ほぼ倍増、 経常利益は全借入金を7年以内に返済できる水準まで回復
経常利益 △3百万円	経常利益 20百万円	
借入金 160百万円	借入金 130百万円	

計画に盛り込んだ課題解決策と計画の骨子について

- マネジメント力強化
- ロス率改善による粗利益増強
- 固定客定着と新規客増加に向けた販促策実行
- 社員レベルの向上

各種アクションプランの策定と専門家によるフォローアップの徹底

いかなる環境においても黒字が確保できる経営体質の実現

ほかに簡便な計画づくりもあります

昨年5月から、金融支援を目的とはせず、早期から自己の経営を見直すための「**早期経営改善支援計画策定支援事業**」を開始しました。

■ 資金繰り管理や採算管理などの基本的な経営改善の取り組みを必要とする中小企業・小規模事業者を対象として、外部専門家（認定支援機関）が資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図などの早期の経営改善計画の策定を支援し、金融機関に提出します。

■ これにより経営課題の発見や分析を行い、金融機関とのコミュニケーションの深化を図ります。

補助としては、早期経営改善計画策定支援に要する計画策定費用およびモニタリング（1年）費用の総額について、補助率2/3（上限20万円）で支援します。

神奈川県経営改善支援センター

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル12階

TEL 045(633)5148

FAX 045(633)5144

知財の意識が低く後悔、自責。

「開放特許」を掴み再試

内装や塗装の世界では誰もが知る養生材「マスキングシート」、「ベニスチロール」^{ひらめ}。35年ほど前、先代社長の閃きから商品化された。職人の口コミで瞬く間に広がった。しかし、知財保護をしていなかったため、競合他社が同様の製品を発売始めた頃には手遅れだった(吉村政城社長(53歳))。価格競争の末に市場を奪われたことで痛感したのが「知財」と「ブランド」だ。山ほどの悔しい思いを情熱に変え、自社で眠らせていた技術を大手企業の「開放特許」と結び付けるという離れ業で

「社員の悲しそうな顔が忘れられない」

「母とよく話していたんです。特許を取っていれば、武蔵小杉の駅前に自社ビルが建っていたんじゃない? って」(笑)——こう振り返るのは、ベニスチロール開発当時、まだ中学生であった千恵子夫人だ。学校から帰宅後、家族総出でベニア板に発砲スチロール板を張り合わせていたという。アイデアマンの先代社長である阿部司氏は千恵子夫人にとって自慢の父親だった。

かつて、建築現場の職人たちは新聞紙等を使って養生していた。不注意により汚れや傷をつけた場合は自腹で保障する苦勞を、先代の社長は度々目にしていた。そこで、マスキングシート(養生巻物)、ベニスチロール、ガード板(養生板)といった商品を次々と開発。これらの養生資材は、古新聞よりずっと高額で過剰品とも思われたが、その利便性から「現場になくてはならないもの」と認知され始めた。ところが、潜在的なニーズを掘り起こしたこれら画期的な商品は、知財保護をしていなかったため、競合他社が次々と同様の製品を発売、類似品が出回るようになった。

「自社開発製品を売っていることに誇りがあった。類似品の出現に、社員たちの悲しそうな顔が忘れられない」(千恵子夫人)。10億あった売り上げは半分以上に落ち込み、「特許」や「商標」の重要性を嫌というほど思い知った。

「もがく」

既に市場に出回っているものは特許を取れない。もう後ろを振り返っても社員の士気は上がらない。以降、先代社長は発明の多くを特許出願、その数は20年間で73に上った。けれども、その頃の彼は職人たちの生の声を聞く機会が少なくなり、売り上げに結び付く発明はなかった。

そうした製品の1つに「アプリテック」がある。ホタテ貝殻を高熱焼成し、粉碎後、水溶液化したものだ。東京農

工大で抗菌作用の確認を取り付けると、建物のクリーニング剤としての可能性を感じた先代社長は、社屋内に工場を建設、製造を開始した。ところがアプリテックは、塗布後、乾燥するとカルシウム成分が白浮きし、クリーニング剤としては致命的であることが判明。優れた抗菌力を活かして人体向けに開発するにも、薬事法や食品衛生法が大きく立ちはだかる。技術はお蔵入りとなった。

川崎市知的財産交流会

川崎市が、大企業が保有する開放特許の知的財産を中小企業に紹介し、事業化を支援するもので、「川崎モデル」とも呼ばれている。一般的に大手企業は、数十億～数百億規模の事業でなければ事業化は難しく、多くの特許を維持費をかけて所有している。川崎モデルでは、特許を使用する中小企業が実施料等を大手企業側に払うことで、WIN-WINの関係を取っている。

合の舞台へ！ 宝 養生資材 株式会社 吉村 夫妻

生み出されたこれ
「類似品が出回り
「ブランド」の重要性だっ
リベンジに向かう。



加齢臭の元となる物質を撃退！
除菌・抗菌能力に優れた天然素材の
高機能石鹸



「転んでもただじゃ起きない」

雑誌の編集者をしていた政城氏が改革に着手して以降、「Re Born」を掛け声に、眠らせている特許技術の見直しを開始した。

巷では嘔吐物からのノロウィルス感染が問題になっていた。建物用として考案された「アプリテック」だが、抗菌効果は捨てがたいものがあったため、和漢生薬研究所に話を持ち掛け、嘔吐物専用の処理キットとして日の目を見る。実際のところ「アプリテック」は先行投資が大きすぎて、引くに引けないというのが本音であった。そして2013年6月、吉村夫妻に金融機関から「川崎市知的財産交流」の声が掛かった。

大企業を味方に！

「パートナーを探している」という富士通のプレゼンテーションに惹かれた政城氏は、富士通研究所と東京大学が開発した光触媒「チタンアパタイト」に注目。強い吸着力で雑菌等を吸着さ

せ、紫外線により不活性化する光触媒だ。「アプリテック」と組み合わせることで、より強力な抗菌作用を持つ石鹸が生み出せるのではないかと。2013年6月、富士通とライセンス契約を締結。製品開発に向け、富士通の知財担当者、川崎市、同市産業振興財団の知財コーディネーターによる伴走が始まった。

休眠特許、開花

最初の問題は「チタンアパタイト」の吸着力だった。強力過ぎて、香料の匂い成分まで吸い取ってしまう。かといって、香料を加えすぎると今度は鹸化しない。製作会社の担当者とも10回以上の打ち合わせをし、納得いく泡立ちを実現するまで、配合量の試行錯誤が続

いた。

香料を扱う企業探しやパッケージデザイン、販売戦略など、課題の1つ1つに川崎市、同市産業振興財団の知財コーディネーターが助力した。こうして4年。昨年8月、「takara-protect soap 川崎力」は世に出た。大手技術で自社特許を開花させたとして多くのマスコミに紹介され、取引先からは「川崎力、見ましたよ」と声をかけられる商品となった。

「特許に無頓着で社員に悔しい思いをさせたが、今度は特許で少しは胸を張ってもらえるかな。」(政城氏)

40年前から変わらず、宝養生資材の社是は「過去には感謝 現在には信頼 未来には希望」である。

宝 養生資材 株式会社

TEL 044(976)0666 川崎市宮前区菅生2-19-17
<http://www.takara-youjyou.co.jp>

●この記事に関するお問い合わせ

川崎信用金庫 経営サポートセンター TEL 044(220)2456



調査結果

平成29年度「発注企業生産現況調査(12月調査)」 生産現況は前期より改善、次期見通しについては 今期より悪化の見込み

県内発注企業の12月期・生産現況(全業種)を見ると、前期の19.7から6.7ポイント増加の26.4となり、改善した。また、3カ月先(30年3月期)の見通しでは、今期の26.4から16.9ポイント減少の9.5と悪化する見込みとなっている。

●取引振興課 TEL 045(633)5067

調査時期／業種	鉄鋼	非鉄	金属	機械	電気	輸送	精密	その他	全業種
28年12月期	66.7	33.3	25.0	9.3	26.3	64.7	6.7	3.7	21.5
29年03月期	▲20.0	▲37.5	24.0	▲2.4	10.3	31.6	0.0	▲27.3	2.8
29年06月期	60.0	▲25.0	▲6.9	3.6	▲15.2	0.0	▲31.3	0.0	▲5.5
29年09月期	25.0	66.7	▲4.8	20.9	22.9	40.9	▲16.7	21.1	19.7
29年12月期	66.7	33.3	37.0	31.1	10.5	0.0	64.3	18.2	26.4
30年03月期見通し	▲16.7	66.7	25.9	26.7	5.3	▲15.0	0.0	▲18.2	9.5

※業種別の生産現況と生産見通しをB.S.I値(上昇企業数割合一下降企業数割合)で表したものの

業種別の生産現況

8業種のうち、「輸送」以外の7業種がすべてプラス値となり、「輸送」だけがB.S.I値がプラスマイナス0となった。

29年12月期と比べ、次期(30年3月期)については、「鉄鋼・輸送・その他」がマイナス値となった。「鉄鋼」は今期の66.7より83.4ポイント減少の▲16.7と大幅な減少を見込んでいる。

調査期間：平成29年12月15日～28日
調査対象：500社
(登録企業データベースに登録している
資本金3,000万円以上の県内発注企業)
回答企業数：178社 回答率：35.6%

わたしたち
KIPです
(Vol.6)
県央支所

身近に寄り添う各種支援の窓口 KIP(本部)、他支援機関の支援に繋がります!

KIP県央支所は海老名にある神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)内に事務所を置き、経営や取引に係る課題をワンストップでキャッチします。また、KISTEC職員と連携して「経営・技術相談」にも対応しています。



お忙しい企業さまにはこちらから
訪問して相談を承ります!

TEL 046(292)0322 E-mail:kenou@kipc.or.jp 海老名市下今泉705-1

(小田急線、相鉄線「海老名駅」より西口自由通路経由で徒歩約18分)

注目が高まる 中国高齢者向けビジネス

～上海の福祉展示会を視察して～

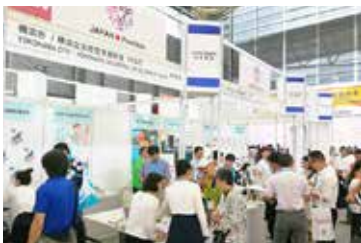


高齢化が急速に進む中国。65歳以上の高齢者人口は2025年には2億人になるといわれています。今回は、毎年多くの来場者が押し寄せ、注目を集める上海の福祉展示会の状況についてご紹介します。

大連・神奈川経済貿易事務所
所長 山田 勝紀



中国国際福祉機器展示会 (ChinaAID)



(公財)横浜企業経営支援財団 (IDEC)
共同出展ブース



日中(上海市)高齢者産業交流会

上海福祉展示会

昨年6月7日から9日に、福祉・リハビリ関連の総合展示会としては最も歴史が長く中国最大規模といわれる上海福祉展示会「第12回中国国際福祉機器展示会 (ChinaAID)」が上海新国際博覧中心で開催されました。

この展示会には、介護用品、リハビリ用具、健康管理機器、福祉自動車、及びバリアフリー住宅関連など、約300社の福祉関連企業が出展しており、日本企業も約40社出展していました。展示会は日本企業を含む外国企業の出展が目立っていたほか、多くの来場者が各ブースに押し寄せていたことが印象的でした。

神奈川県からは、(公財)横浜企業経営支援財団 (IDEC) が共同出展ブースを設け、県内企業6社 ①(株)ジーピー横浜事務所 ②(株)リキッド・デザイン・システムズ ③(有)アイシン商事 ④(株)ワンウィル ⑤(株)新鋭産業 ⑥(株)ツヴァイクが出展しました。出展の目的は、中国で販売代理店を探していきたい、自社の製品が中国の高齢者向け市場で展開できるか探りたい、中国で介護者育成ビジネスを展開していきたいなど、いずれの企業も高齢者向けビジネスの今後の成長性に期待を寄せたもので、中国市場の現状を把握したいという意気込みに満ちていました。

ジェトロ高齢者産業交流会

展示会初日には、会場内にてジェトロ上海事務所主催の「日中(上海市)高齢者産業交流会」が開催されました。参加無料ということもあり、出展企業にとって、見逃すことができないイベントです。

交流会では、上海市政府による高齢者向け産業の最新動向について講演が行われたのち、日本企業55社、中国企業約70社が参加して個別商談会が行われました。商談会の参加を目的に展示会に来場する中国企業も多く、参加した日本企業にとっては、ビジネスパートナーを探す絶好の機会となりました。

中国でのビジネス展開

大連事務所では、こうした展示会情報を含め、中国の高齢者向けビジネスについて情報収集を行っています。中国でのビジネス展開をお考えの方はぜひ、お気軽にお問い合わせください。

●KIP国際課 TEL 045(633)5126

地域経済を支える中小企業 ・小規模企業者を表彰

1 月17日(水)、神奈川県庁大会議場にて、県内11工場を「平成29年度神奈川県優良工場」として、県内18企業者を「平成29年度神奈川県優良小規模企業者」として、表彰いたしました。

■優良工場表彰とは

県内に立地し、製造業を営む中小企業の工場のうち、経営成績、作業環境、生産技術などが特に優れており、労働災害や公害の発生防止、労働時間の短縮、環境関連手続の遵守などに取り組んでいる工場を、「神奈川県優良工場」として表彰しています。昭和33年度の制度創設後、今年度を含め724工場を表彰しました。

■優良小規模企業者表彰とは

独自の技術、工法、発想による商品化、事業化をしている者や長年にわたり地元根ざした活動など地域活性化に貢献している者など、特筆すべき実績を残している又は特徴的な経営を実践している県内の小規模企業者を「神奈川県優良小規模企業者」として表彰しています。平成27年度の制度創設後、今年度を含め47者を表彰しました。



表彰式での記念撮影

■平成29年度神奈川県優良工場 受賞工場(50音順)

工場名	所在地／TEL	主要製品、事業内容	特 長
アトエ産業 株式会社 本社工場	横須賀市内川2-1-21 046(835)2420	空調設備機器架台他	加工製品の美しさは発注先からも定評がある
エイト技工 株式会社	相模原市中央区氷川町15-14 042(752)8888	制御盤、配電盤システム設計 (ハード・ソフト)他	豊富なノウハウと高い技術力に基づく提案型設計
株式会社 栄和産業	綾瀬市吉岡東4-15-5 0467(77)0878	自動車板金加工部品、大型建機用板金加工部品、バス・トラック用板金加工部品	深絞りなど加工技術力の高さで他社に優位性を持つ
大島機工 株式会社	相模原市中央区田名2242-3 042(761)6170	建機・油圧シリンダ部品の製造他	数千個の量産品でも高い加工精度を誇る
株式会社 オースズ	横浜市港北区新吉田町218 045(592)4511	建設機械・電子機器ヒンジ関連製品、電子機器機構部品	各種ヒンジ製品等の設計開発から量産までを行う
株式会社 木村産業	寒川町田端2046-1 0467(75)0114	荷物運搬・保管用パレット	顧客ニーズへのきめ細やかな対応で高い信頼を得る
株式会社 コスモテックス	厚木市松枝2-6-1 046(222)7351	モータ制御用LSI他	LSIデバイスの設計開発、検証、販売までを行う
三和クリエーション株式会社	川崎市中原区宮内1-26-8 044(740)6800	高精度ピン・シャフトの製造、販売他	精密微細加工技術で医療、航空・宇宙分野に取り組む
株式会社 第一パック大船工場	鎌倉市台2-16-18 0467(45)3121	ダンボールケース、印刷紙器、木箱他	客のニーズにはあらゆる素材で対応し高い評価
株式会社 バンテック	平塚市東豊田531-24 0463(51)2211	FA関連システム、小型多軸ロボット他	技術の積み重ねに基づいたオリジナル製品やサービス
株式会社 ミドリ産工	平塚市東豊田480-48 0463(51)2300	精密自動プレス金型、精密治具	多品種少量生産でも技術力の高度化で他社と差別化

■平成29年度神奈川県優良小規模企業者 受賞企業者(50音順)

企業名	所在地/TEL	主要製品、事業内容	特 長
有限会社 相和シボリ工業	川崎市高津区新作3-3-2 044(888)6361	工場用送風機カバー、機械設備カバー	手絞りの熟練技術によりどんな金属でも対応可能
アポロプレシジョン株式会社	横須賀市内川1-2-17 046(835)1333	機械部品加工、各種装置	技術力の高い機械加工と一貫生産体制に強み
有限会社 新玉製作所	小田原市飯泉861-1 0465(48)3322	建設用機械及び半導体装置部品の製造	優れた薄物加工技術で精密部品を製造
インフィニテグラ株式会社	横浜市港北区新横浜2-2-8 新横浜ナラビル9F 045(534)9134	産業用カメラ	カメラ向けの独自技術の研究開発に強み
株式会社 F-Design	相模原市緑区西橋本5-4-30 さがみはら産業創造センター SIC-2 602号室 042(770)9607	医療・福祉ロボット開発、医療・福祉機器開発、機械・電気設計、プロダクトデザイン	顧客への高い提案力と一貫開発・製造体制を保有
扇や製麺店	厚木市船子1091-1 046(247)3711	中華麺、うどん、そば等のめん類	顧客の細かなニーズに応じためん類の製造
有限会社 大場工業所	綾瀬市吉岡東3-3-40 0467(76)6225	自動車関連設備の溶接、道路冠水防止用蓋	高難度の溶接技術で高品質な製品を提供
加藤畳店	清川村煤ヶ谷1310 046(288)1734	畳	国産の厳選素材を用いた畳の製造
株式会社 キョーフハーツ	横浜市港北区高田西1-5-1 045(593)6116	「薄い・細い・小さい」プレス加工(板ばね)、書類の出し入れ自由なファイル「ヌーケ」	精密金属プレス加工と順送金型の設計製作に強み
三愛エコシステム株式会社	厚木市長谷260-57 046(290)0106	切屑自動圧縮機、切屑破砕機、その他周辺装置	環境意識に応じた切粉の適正処理への高い提案力
株式会社 sun&beach	逗子市逗子7-6-29さくらビル2階 046(873)1748	抱っこ紐	デザイン性とファッション性を備えた安全性の高い商品
有限会社 湘南技研	寒川町一之宮4-22-23 0467(74)0998	各種真空装置、その他実験機器	真空装置の設計から製造まで一貫対応
株式会社 ナガオシステム	川崎市麻生区片平1-9-30 044(954)4486	混合、粉碎装置	比重等が異なる物質を均一に混合する高いミキシング能力
株式会社 ナノ	横浜市金沢区谷津町86-1 045(791)5571	航空機、船舶の装備品、小型精密加工機	0.1ミクロン単位の精密部品加工技術を保有
有限会社 日興研磨工業所	藤沢市菖蒲沢989 0466(49)1640	医療機器、半導体製品のバルブ等の金属研磨加工	独自技術による内・外径バフ研磨に強み
豊月堂	寒川町一之宮1-23-13 0467(75)0068	和菓子	地元に根ざした経営で幅広い顧客層から高評価
株式会社 ムラタ	寒川町一之宮4-19-16 0467(38)6017	製袋機	製袋機の専門メーカーとして製造から設置まで対応可能な技術力
株式会社 山星製作所	横浜市都筑区川和町186-7 045(932)8661	計測機、電子機器のカバー等の精密板金加工	美観にこだわった品質と不良率の低さに定評

●県中小企業支援課 中小企業支援グループ TEL 045(210)5556 FAX 045(210)8872

“伝統工芸に会う” 展示会

伝統的工芸品展WAZA2018/
第45回鎌倉彫創作展



前回(WAZA2017)の会場風景



前回(第44回鎌倉彫創作展)の創作大賞
受賞作品「芥子文八角飾箱」 奴田 伸宏 作

2 020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催に向け、日本のオリジナリティーをアピールできる伝統工芸への関心が高まっています。お客さまへの贈答用や自社の取扱商品として、また新製品開発のヒントに、「伝統的工芸品」を活用してみませんか。入場無料ですので、皆さまぜひおいでください。

伝統的工芸品展WAZA2018

全国の「伝統的工芸品」を一堂に集めた展示・即売会です。本県からは、鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器が出展し、寄木細工の製作実演も行います。暮らしを豊かにする逸品揃いの展示会です。

日 時: 2月16日(金)～21日(水) 10時～20時[最終日は17時まで]

会 場: 東武百貨店池袋店8階催事場(東京都豊島区西池袋1-1-25)

第45回鎌倉彫創作展

全国の鎌倉彫愛好者が制作した、オリジナル未発表作品の展示会です。今回は「春」をテーマに、沢山の花が咲くように美しい作品の数々をご覧ください。

日 時: 2月28日(水)～3月4日(日) 9時～16時

会 場: 鎌倉彫工芸館(神奈川県鎌倉市由比ガ浜3-4-7)

● 県中小企業支援課 小田原駐在事務所(工芸技術所) TEL 0465(35)3557

新たな事業展開を金融面 から支援しています

フロンティア資金を
ご活用ください

神奈川県 制度融資

検索

県内で原則1年以上継続して同一事業を営んでいる中小企業者を対象に、事業に必要な資金の借入を支援する中小企業制度融資を実施しています。県が貸付原資の一部を負担し、神奈川県信用保証協会が公的な保証人となることで、銀行や信用金庫などの金融機関が低利な融資を行います。今回はその中から、新たな事業展開を支援するメニューをご紹介します。

■フロンティア資金(新たな事業展開対策)

融資対象者: 現在の事業に加え、新たな事業に取り組む方や経営革新計画の県の承認を受けた方等

融 資 期 間: 運転資金: 1年超7年以内、設備資金: 1年超10年以内

融資限度額: 8,000万円(協同組合等は1億2,000万円)

(「経営革新計画」の承認を受けた方は、別枠8,000万円)

融 資 利 率: 年2.1%以内(固定金利)

信 用 保 証: 神奈川県信用保証協会の保証が必要(要保証料)

お 申 込 み: 取扱金融機関の窓口へ直接お申込みください。

● 県金融課 金融相談窓口(借入のご相談) TEL 045(210)5695

融資グループ(制度の内容) TEL 045(210)5677

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p847662.html>

「神奈川R&D推進協議会」 神奈川版オープンイノベーションによる商品化支援

県内大企業、大学、県、KISTECから組織される「神奈川R&D推進協議会」は、企業や大学等が持つ資源を最適に組み合わせ商品化を目指す「神奈川版オープンイノベーション」による企業支援に取り組んでいます。今回は、「さがみロボット産業特区」の生活支援ロボットを対象とした企業支援の内容と事例を紹介します。

■「神奈川版オープンイノベーション」

「神奈川R&D推進協議会」は、県内中小企業等による最短期間の商品化を目指す「神奈川版オープンイノベーション」の仕組みを構築し、KISTECを中心に技術連携から事業化まで総合的に支援しています。特にロボット分野については、「さがみロボット産業特区」が平成25年2月に国から地域活性化総合特区に指定されたことを受け、ロボット研究会を立ち上げて重点的に活動しています。

【フォーラム等の開催】

ロボット研究会の主な活動として、ロボット未活用領域における現場ニーズの紹介やシーズ技術の発表を通して、生活支援ロボットの技術課題や可能性について意見交換するフォーラム等を開催しています。この一環として、3月2日(金)にかながわサイエンスパーク(川崎市高津区)において医療ロボットをテーマとしたシンポジウムを開催します。ロボット研究会への入会やシンポジウムの詳細については、KISTECホームページをご覧ください。

【共同研究開発プロジェクトの立ち上げ】

ロボット研究会を通じたニーズ・シーズのマッチングや県内商工会・商工会議所を通じた優れた中小企業の掘り起こし等により、これまでに16件のプロジェクトを立ち上げました。KISTECによる技術支援・デザイン支援や県と協力して取り組む実証実験支援等により、このうち4件のプロジェクトが商品化に至りました(★印)。

共同研究開発プロジェクト(平成29年12月時点)

- 1 高齢者向け在宅見守りシステム
- ★ 2 災害対応マルチローター機【平成29年商品化】
- 3 社会インフラ点検と災害対応両用ロボット【終了】
- 4 障害物回避機能を備えた外出支援ロボット
- 5 外出支援アクティブ歩行補助車
- 6 移乗支援および着座ずれ防止車いすロボット
- ★ 7 火山活動対応ドローン【平成28年商品化】
- 8 火山活動対応地上走行車【終了】
- ★ 9 火山活動対応地すべり警報システム【平成28年商品化】
- 10 高齢者用電動ショッピングカート
- ★ 11 人の立ち入りが困難な現場での情報収集ロボットの開発【平成29年商品化】
- 12 観光客へローカル情報の提供を行うコミュニケーションロボットの開発
- 13 ドローンを利用したニホンザルの追い払い支援ロボットの開発
- 14 歩行支援杖型ロボットの開発
- 15 深海水域中ドローンの開発
- 16 ささまざまな環境・用途にカスタマイズ可能な自律搬送ロボット

■事例紹介

共同研究開発プロジェクトの一例として、障害物回避機能を備えた外出支援ロボット(左下プロジェクト一覧No.4)の開発事例を紹介します。

株式会社トーキンオール(川崎市川崎区)を中心に、明治大学理工学部 黒田洋司教授の自律運転機能に関するロボット技術を活用し、高齢者や足腰が弱っている人の外出を支援するロボットを開発しています。開発した試作機は、ロボット機能により障害物や下り段差を認識して回避・停止できるだけでなく、自由関節を設けた薄型6輪機構により凹凸のある路面においても安定して快適に走行できます。この外出支援ロボットが普及すれば、高齢者による車いす事故の大半を占める転倒事故の減少につながると期待されます。KISTECは車体の構造解析やデザイン等について支援してきました。2018年の商品化を目指しています。



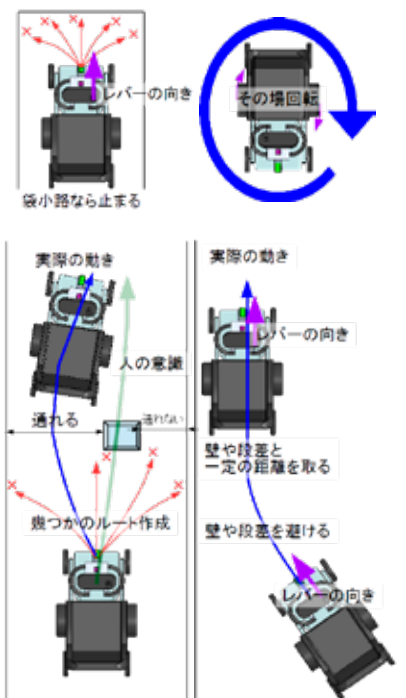
試作機の外観



揺動2Dレーザーセンサー



自由関節を設けた6輪機構



ロボット機能の模式図

●(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 研究開発部 橋渡し研究課 TEL 046(236)1500 (代表)
<https://www.kanagawa-iri.jp/>



取引相談会

新たな取引先をご紹介します! 3月の巡回あっせん相談

KIPでは、県内中小企業者等の皆さまの安定的な取引の確保・拡大を図るため、各地区で受・発注取引のあっせん相談を行っています。あっせん相談は、県内7地区の商工会議所等とKIPの川崎・相模原両駐在事務所でも実施しています。新たな販路開拓をお考えの皆さま、お近くの会場をご利用ください。

●取引振興課 TEL 045(633)5067

開催場所	日 時
藤沢商工会議所	6日(火)
横須賀三浦地域県政総合センター	8日(木)
秦野商工会議所	9日(金)
小田原箱根商工会議所	14日(水)
茅ヶ崎商工会議所	19日(月)
大和商工会議所	20日(火)
平塚商工会議所	20日(火)
川崎駐在事務所 ※1	毎週木曜日
相模原駐在事務所 ※2	14日(水) 28日(水)
	13:00 ~ 16:00



- ※1 川崎市産業振興会館 6F
「(公財) 川崎市産業振興財団」内
- ※2 相模原商工会議所商工会館 3F
「相模原商工会議所」内

EVENT information

KIP イベント情報 2月 ≫ 3月

イベントの詳細・お申し込みは

<http://www.kipc.or.jp>

※ 予定情報につき、詳細はこちらでご確認ください

セミナー

国際課: kokusai@kipc.or.jp

ベトナム ビジネス勉強会

(先着20名)

～番外編 ASEANでのベトナムの位置づけ～

- ▶ 開催日時: 2月20日(火) 13:30～16:30
- ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル
- ▶ 講師: 国際機関日本アセアンセンター 中西 宏太氏 他

セミナー

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

あなたの会社、大丈夫ですか!!

(先着36名)

～サイバー犯罪・サイバー攻撃の現状と中小企業でも必要な対策について

- ▶ 開催日時: 2月20日(火) 14:30～16:30
- ▶ 場所: 藤沢商工会館
- ▶ 講師: 神奈川県警察本部サイバー犯罪対策課員、PFUサイバー防犯ボランティア

セミナー

経営支援課: management@kipc.or.jp

第3回新事業成功講座【横浜市特定創業支援事業】(先着20名)

- ▶ 開催日時: ①2月24日 ②3月3日 ③3月10日いずれも(土) 10:00～16:00
- ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル

セミナー

国際課: kokusai@kipc.or.jp

インドネシア ビジネス勉強会(第2回)

(先着20名)

～現地の投資環境や工業団地の紹介、進出事例発表など

- ▶ 開催日時: 2月15日(木) 14:00～17:00
- ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル

よろずの学校

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

ほぼ毎週開講!「よろずの学校」～学び“会”場づくり。疑問に思ったことはその場で発言→解決! 1名でも開講します

(先着10名)

- ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル
- ▶ 講師: 神奈川県よろず支援拠点のコーディネーター等

※内容が変更になる場合があります

j-stat mapを活用した
周辺環境調査の実践

- ▶ 開催日時: 2月13日(火) 16:00～17:00
- ▶ 講師: 金崎 努氏



千客万来キャッチフレーズの作り方

- ▶ 開催日時: 2月19日(月) 16:00～17:00
- ▶ 講師: 元山 茂樹氏



販路開拓を進める際のポイント

- ▶ 開催日時: 2月21日(水) 16:00～17:00
- ▶ 講師: 藤村 典子氏



弁護士が教える分割支払い合意書の書き方

- ▶ 開催日時: 3月8日(木) 16:00～17:00
- ▶ 講師: 池田 耕介氏

「中小企業サポートかながわ」はKIPのホームページにも掲載しています。冊子をご希望の方には、毎号お届けします(無料)。郵便番号/所在地/企業名/担当者名(個人も可)/部数を、右記にご連絡ください。

編集/発行

公益財団法人 神奈川産業振興センター(KIP)

Kanagawa Industrial Promotion Center

横浜市中区尾上町5-80

神奈川中小企業センタービル

TEL 045(633)5201

FAX 045(633)5194

<http://www.kipc.or.jp>

